

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	りんくむろらん		
○保護者評価実施期間	令和8年2月1日		～ 令和8年2月28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	令和8年2月19日		～ 令和8年2月28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月6日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	イベントや活動の充実	常に職員がお子さんはじめ保護者の方々も楽しく、また放課後等デイサービスでできない体験や経験を積むことができるよう日々の活動を考え提供させていただいております。調理活動はもちろんの事、公共交通機関を利用した施設見学や遠足等も行っていきます。年に数回ですが保護者の方々や兄弟が参加できる会も行っていきます。(昨年は親子BBQ、クリスマス会を行いました)	事業所が狭い為、事業所内のできる活動の幅が狭くなっている為、公共施設をお借りしたり、他事業所様と連携させていただき活動を行っています。今後活動の幅をもっと広げていきたい、マンネリ化しないよう職員が情報収集を常に努めます。また近年物価高で活動費も正直全体的に高くなっており、調理活動等実費はどうしてもかかってしまうため、各ご家庭に負担をかけないよう、計画をたて自己負担がこれ以上上がらないよう活動等工夫していきます。
2	個別活動の実施	開所当時より個別活動時間を設け対応させていただいております。最近では学校の宿題をメインに行うお子様が増えつつありますが、平仮名やカタカナ、月日の読み方等忘れてしまう、実は書けなかった、覚えていない事情が多く、生活に今後必要となる知識や学びを常に行えるよう、学習プリントも提供しています。また創作活動で作品作りも行っていきます。集中力や指先の巧緻性の向上や季節感を感じることで日本や海外の文化を学べるよう活動を提供しています。	保護者の方からの要望も常に取り入れながら支援させていただいておりますが自己選択制を取り入れている為、保護者の方の希望と実施内容が一致しないことがあります。りんくとしては学習内容もちろんだ大切なことですが、自己選択の大切さや、やる気や集中力の向上、興味をいどく事柄の幅を広めお子様一人ひとりが主役になり輝き続けられるよう支援を行いたいと考えております。その為にもお子様の意志や思いを第一に考えながら保護者の方や各関係機関と密に連携しより良い環境と支援を提供していきます。
3	第三の居場所づくり	当事業所では、放課後等デイサービスを「支援の場」とであると同時に、家庭や学校とは異なる第三の居場所として位置づけています。学校終わりや長期休暇中、本来であれば自宅で自由に過ごしたい時間帯においても、お子様が「行きたい」と思える場所であるために、無理に活動へ参加させるのではなく、一人ひとりの気持ちやペースを尊重した関わりを大切にしています。お子様が安心して相談できる関係性づくりや、他児童との自然なコミュニケーションが生まれる環境設定、期待を持って参加できるイベントの実施を通して、「ここなら自分らしくいられる」と感じられる居場所づくり	子どもが「居る」だけでなく「育つ」居場所へ、安心して過ごさせているからこそ、徐々に一人ひとりの発達特性等配慮しながら小さな挑戦や役割を選べる環境を作って行きたいと考えております。放課後等デイサービスの支援者として知識や経験は最低限必要な事もありますが「寄り添い」を第一に考え実行できる職員育成を今後研修も取り入れ行ってまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が狭い	前々より移転したい気持ちはあり、保護者の方よりもう少し広かったらうれしい等お声をいただいております。正直今すぐにも広い場所へ移転したい気持ちはあり、ご利用において「自宅や学校が近いからありがたい」「通勤経路の途中だから送迎しやすい」等のお声が多く、この場所からあまり離れず、事業所面積が広く、送迎車や職員の駐車場できる場所を探しています。が今現在見つけることができない状況です。	今後も情報収集を行い、移転先を検討していきます。またすぐに移転等はできない為公共の施設や町内会館等を借り支援の幅が狭まらないよう工夫させていただきます。
2	職員の人数	今現在常勤5名にて支援体制を整えています。が支援以外にも送迎業務や事務的作業がある事から、活動内容を工夫しなければならない時もあります。また感染症や急遽私用の休みの職員が発生した場合は公休の職員が出動になる場合もあり(後日代休となる)職員への負担もかなり大きいものとなります	送迎職員、または時短の有資格者を今後求人を出し採用したいと考えています。(常勤の勤務者は今後採用予定ありません)
3	地域の同年代のお子様方との交流が薄い	地域交流は町内会や他施設で主に大人の方との交流をおこないい、また昨年度系列事業所放課後等デイサービス「りんくききょう」との交流会を実施し会館を利用し互いの地域の紹介や遊びの場の提供を行いました。定期的同年代の地域のお子様方との交流を行うことができていません。実施したい気持ちはあるのですが送迎時間の兼ね合いやお子様方の特性(大人数が苦手、音に過敏等)があり難しい状況ではあります。	今後も地域の方との交流を進めるために取り組んでまいりますが、正直今の現状だと難しいのが事実です。情報共有や収集を常に行い、実施できるできるよう努めていきます。